

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	広島情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	大学併修科（大学・システム専攻）	夜・通信	390 時間	320 時間	
	大学併修科（大学・ゲーム専攻）	夜・通信	600 時間	320 時間	
	大学併修科（大学・医療情報専攻）	夜・通信	360 時間	320 時間	
	大学併修科（大学・AI 専攻）	夜・通信	390 時間	320 時間	
	情報システム専門科(AI エンジニア専攻)	夜・通信	302 時間	240 時間	
	情報システム専門科(ネットセキュリティ専攻)	夜・通信	302 時間	240 時間	
	情報システム専門科(アプリ開発専攻)	夜・通信	302 時間	240 時間	
	情報システム専門科(医療情報専攻)	夜・通信	302 時間	240 時間	
	情報システム専門科(ゲームクリエイイト専攻)	夜・通信	272 時間	240 時間	
	情報システム科(IT プログラム専攻)	夜・通信	270 時間	160 時間	

	情報システム科 (ゲームプログラム専攻)	夜・通信	180 時間	160 時間	
	情報ビジネス科 (IT ビジネス専攻)	夜・通信	180 時間	160 時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

希望者には5階受付・職員室にて学校備付けの「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表を閲覧させる

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

1. 理事（役員）名簿の公表方法

希望者には5階受付・職員室にて学校備付の役員名簿を閲覧させる

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和2年6月 27日から令 和4年6月 26日	経理・財務の業務に 関する確認や助言
非常勤	株式会社役員	令和2年6月 27日から令 和4年6月 26日	法人経営についての 助言や提案
(備考) 他、学外者である理事は1名（外部理事 総数 3名）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。</p> <p>実施する授業科目については、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法が統一されている。</p> <p>また、シラバスは毎年度12月から次年度分の作成をはじめ3月までに作成している。</p> <p>それらのシラバスは、学生に対してホームページ上に4月に公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.hi-joho.ac.jp/syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。</p> <p>最終評価点に対する成績評価(秀・優・良・可・不可)については、90点以上は秀、80点から89点は優、70点から79点は良、60点～69点は可、59点以下は不可と定めており、これらについては学生の手引きに明記することで、全学生へ周知している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校ではGPAを導入していないものの、5段階の成績評価（秀・優・良・可・不可）を設け、秀：4点、優：3点、良：2点、可：1点とし、それらの合計点を科目数で除したものを客観的な指標としている。これらについては学生の手引きに明記することで全学生へ周知している。</p> <p>また、成績の分布状況については、半期毎に通知する成績通知書に対象学科・専攻における「学年順位」を記載しており、学生は自身の成績が下位4分の1に入っていないかを把握できるようにしている。</p> <p>なお、学生の手引きは、要求に応じて、いつでも閲覧できるよう職員室に設置するとともに、新入生には入学時に配布している。また、すべてのホームルームに設置し学生はいつでも閲覧できるようにしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.hi-joho.ac.jp/wp/wp-content/themes/joho2021/img/pdf/02_gakka.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なIT人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <p><実施に係る取組></p> <p>「修業年限以上在籍」については主に出席状況、「所定の科目を履修」については成績評価状況を基に判断する。</p> <p>なお、出欠及び成績評価状況は、1年次から半期毎に学生・保護者へ通知のうえ、問題がある場合は適宜フォローを行いながら進級・卒業指導を行い、年度末の「進級・卒業判定会議」を経て、校長が進級・卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.hi-joho.ac.jp/wp/wp-content/themes/joho2021/img/pdf/01_gakkou.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	広島情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	希望者には5階受付・職員室にて学校備付けの「貸借対照表」を閲覧させる
収支計算書又は損益計算書	希望者には5階受付・職員室にて学校備付けの「収支計算書」を閲覧させる
財産目録	希望者には5階受付・職員室にて学校備付けの「財産目録」を閲覧させる
事業報告書	希望者には5階受付・職員室にて学校備付けの「事業報告書」を閲覧させる
監事による監査報告（書）	希望者には5階受付・職員室にて学校備付けの「監事による監査報告書」を閲覧させる

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(1)大学併修科(大学・システム開発専攻)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	大学併修科（大学・システム開発専攻）		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4508 単位時間／単位	1462 単位時間 ／単位	1956 単位時間 ／単位	1300 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			4718 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人の内数		139人	0人	5人の内数	人	5人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。 実施する授業科目については、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法が統一されている。 それらのシラバスは、学生に対してホームページ上に4月に公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。 また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、

その内容に従って適正な評価を行っている。 最終評価点に対する成績評価（秀・優・良・可・不可）については、90点以上は秀、80点から89点は優、70点から79点は良、60点～69点は可、59点以下は不可と定めており、これらについては学生の手引きに明記することで、全学生へ周知している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業の認定は、①学科所定の年限以上在籍すること、②学科所定の科目を履修すること、としており、①については主に出席状況、②については成績評価状況を基に判断する。
学修支援等
（概要） 中途退学への取組として、担任、学科長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0.0%)	19人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） IT業界			
（就職指導内容） 担任、就職課が連携し、受験企業の選択、受験指導などを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ITパスポート試験14名、基本情報技術者試験9名、応用情報技術者試験4名、ネットワークスペシャリスト1名、情報処理安全確保支援士試験2名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121人	8人	6.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、社会的不適応、意欲欠如等		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

(2) 大学併修科(大学・ゲーム専攻)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	大学併修科 (大学・ゲーム専攻)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4838 単位時間/単位	1514 単位時間 /単位	2088 単位時間 /単位	1446 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			5048 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200 人の内数		55 人	0 人	5 人の内数	0 人	5 人の内 数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「カリキュラム」の欄参照。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「成績評価の基準・方法」の欄参照。	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。	
学修支援等	
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「学修支援等」の欄参照。	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8 人 (100%)	0 人 (0.0%)	8 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) IT 業界			
(就職指導内容) 担任、就職課が連携し、受験企業の選択、受験指導などを行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) IT パスポート試験 5 名、基本情報技術者試験 8 名、応用情報技術者試験 2 名、情報セキュリティマネジメント試験 1 名、情報活用検定 1 級 6 名、情報システム試験システムエンジニア認定 6 名、情報システム試験プログラマ認定 5 名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	3人	5.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、意欲欠如		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談, 補講などの授業フォローアップ, 保護者との面談, ハラスメント相談窓口など		

(3) 大学併修科(大学・医療情報専攻)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	大学併修科(大学・医療情報専攻)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 4628 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	4年		講義	演習	実習	実験	実技
	昼間		60 単位時間 /単位	330 単位時間 /単位	480 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			870 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人の内数		2人	0	5人の内数	1人の内数	6人の内 数	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 大学併修科(大学・システム開発専攻)の「カリキュラム」の欄参照。
成績評価の基準・方法
(概要) 大学併修科(大学・システム開発専攻)の「成績評価の基準・方法」の欄参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 大学併修科(大学・システム開発専攻)の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。
学修支援等
(概要) 大学併修科(大学・システム開発専攻)の「学修支援等」の欄参照。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(主な就職、業界等) IT 業界
(就職指導内容) 担任、就職課が連携し、受験企業の選択、受験指導などを行っている。
(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	1 人	20.0%
(中途退学の主な理由) 意欲欠如		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談, 補講などの授業フォローアップ, 保護者との面談, ハラスメント相談窓口など		

(4) 大学併修科(大学・A I 専攻) 令和3年度新設

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	大学併修科 (大学・A I 専攻)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼間	4508 単位時間/単位	574 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1294 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200 人の内数		30 人	0 人	5 人の内数	人	6 人の内 数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「カリキュラム」の欄参照。
成績評価の基準・方法
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「成績評価の基準・方法」の欄参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。

学修支援等 (概要) 大学併修科(大学・システム開発専攻)の「学修支援等」の欄参照。
--

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

(5) 情報システム専門科(AIエンジニア専攻) 令和2年度新設

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム専門科 (AIエンジニア専攻)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3246 単位時間/単位	956 単位時間 /単位	864 単位時間 /単位	556 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2376 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210人の内数		57人	0人	4人の内数	0人	4人の内 数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 大学併修科（大学・システム開発専攻）の「カリキュラム」の欄参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 大学併修科（大学・システム開発専攻）の「成績評価の基準・方法」の欄参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 大学併修科（大学・システム開発専攻）の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。
学修支援等
（概要） 大学併修科（大学・システム開発専攻）の「学修支援等」の欄参照。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	2人	6.5%
（中途退学の主な理由） 社会的不適応、意欲欠如等		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

(6) 情報システム専門科(ネットセキュリティ専攻)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム専門科 (ネットセキュリティ専攻)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3246 単位時間/単位	1192 単位時間 /単位	1118 単位時間 /単位	1026 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3336 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
210 人の内数	76 人	0 人	4 人の内数	0 人	4 人の内 数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「カリキュラム」の欄参照。
成績評価の基準・方法
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「成績評価の基準・方法」の欄参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。
学修支援等
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「学修支援等」の欄参照。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18 人 (94.7%)	0 人 (0.0%)	18 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) IT 企業、製造業等			
(就職指導内容) 担任、就職課が連携し、受験企業の選択、受験指導などを行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) IT パスポート試験 2 名、基本情報技術者試験 11 名、応用情報技術者試験 8 名、情報処理安全確保支援士試験 4 名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70 人	3 人	4.3%
(中途退学の主な理由) 病気・怪我、意欲欠如、社会的不適応		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

(7) 情報システム専門科(アプリ開発専攻)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム専門科 (アプリ開発専攻)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 3246 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	3年		講義	演習	実習	実験	実技
	昼間		1012 単位時間 /単位	1088 単位時間 /単位	1236 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3336 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210 人の内数		25 人	0 人	4 人の内数	0 人	4 人の内 数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「カリキュラム」の欄参照。
成績評価の基準・方法
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「成績評価の基準・方法」の欄参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。
学修支援等
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「学修支援等」の欄参照。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12 人 (100%)	0 人 (0.0%)	11 人 (91.7%)	1 人 (8.3%)

(主な就職、業界等) IT 企業、製造業など
(就職指導内容) 担任、就職課が連携し、受験企業の選択、受験指導などを行っている。
(主な学修成果 (資格・検定等)) IT パスポート試験 2 名、情報セキュリティマネジメント試験 1 名、基本情報技術者試験 5 名、応用情報技術者試験 1 名
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談, 補講などの授業フォローアップ, 保護者との面談, ハラスメント相談窓口など		

(8) 情報システム専門科(医療情報専攻)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム専門科 (医療情報専攻)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	3396 単位時間/単位	94 単位時間 /単位	302 単位時間 /単位	534 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			930 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210 人の内数		3 人	0 人	4 人の内数	1 人の内数	5 人の内 数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「カリキュラム」の欄参照。
成績評価の基準・方法
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「成績評価の基準・方法」の欄参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。

学修支援等 (概要) 大学併修科(大学・システム開発専攻)の「学修支援等」の欄参照。
--

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (0.0%)	1人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) IT企業			
(就職指導内容) 担任、就職課が連携し、受験企業の選択、受験指導などを行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 基本情報技術者試験1名、医療情報基礎知識検定1名、医療事務技能審査試験1名			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

(9) 情報システム専門科(ゲームクリエイト専攻)

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報システム専門科 (ゲームクリエイト専攻)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3426 単位時間/単位	1218 単位時間/単位	1282 単位時間/単位	1556 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
		4056 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
210人の内数	73人	0人	3人の内数	0人	3人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 大学併修科（大学・システム開発専攻）の「カリキュラム」の欄参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 大学併修科（大学・システム開発専攻）の「成績評価の基準・方法」の欄参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 大学併修科（大学・システム開発専攻）の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。
学修支援等
（概要） 大学併修科（大学・システム開発専攻）の「学修支援等」の欄参照。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	0人 (0.0%)	32人 (84.2%)	6人 (15.8%)
（主な就職、業界等） IT企業、製造業など			
（就職指導内容） 担任、就職課が連携し、受験企業の選択、受験指導などを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ITパスポート試験11名、基本情報技術者試験14名、応用情報技術者試験1名、CGクリエイター検定エキスパート3名、CGエンジニア検定エキスパート1名等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	5人	5.9%
（中途退学の主な理由） 意欲欠如、社会的不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

(10) 情報システム科 (ITプログラム専攻)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム科 (ITプログラム専攻)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2194 単位時間/単位	826 単位時間 /単位	642 単位時間 /単位	786 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2254 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210 人の内数		41 人	0 人	2 人の内数	0 人	2 人の内 数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「カリキュラム」の欄参照。
成績評価の基準・方法
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「成績評価の基準・方法」の欄参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。
学修支援等
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「学修支援等」の欄参照。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29 人 (93.5%)	0 人 (0.0%)	25 人 (86.2%)	4 人 (13.8%)
(主な就職、業界等) IT 企業等			
(就職指導内容) 担任、就職課が連携し、受験企業の選択、受験指導などを行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) IT パスポート試験 6 名、基本情報技術者試験 9 名、応用情報技術者試験 3 名、情報処理 安全確保支援士試験 2 名、SEA/J 13 名等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	2人	4.0%
(中途退学の主な理由) 意欲欠如、社会的不適応		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談, 補講などの授業フォローアップ, 保護者との面談, ハラスメント相談窓口など		

(11) 情報システム科(ゲームプログラム専攻)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム科 (ゲームプログラム専攻)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 2374 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間		906 単位時間/単位	752 単位時間/単位	1136 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2794 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人の内数	5人	0人	2人の内数	0人	2人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「カリキュラム」の欄参照。
成績評価の基準・方法
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「成績評価の基準・方法」の欄参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。
学修支援等
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「学修支援等」の欄参照。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0.0%)	4人 (80.0%)	1人 (20.0%)

(主な就職、業界等) IT 企業等
(就職指導内容) 担任、就職課が連携し、受験企業の選択、受験指導などを行っている。
(主な学修成果 (資格・検定等)) 基本情報技術者試験 1 名、CG クリエイター検定ベーシック 3 名、CG エンジニア検定ベーシック 3 名等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	1 人	11.1%
(中途退学の主な理由) 社会的不適応		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談, 補講などの授業フォローアップ, 保護者との面談, ハラスメント相談窓口など		

(12) 情報ビジネス科 (IT ビジネス専攻)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報ビジネス科 (IT ビジネス専攻)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2310 単位時間/単位	122 単位時間/単位	298 単位時間/単位	570 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
		990 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		15 人	0 人	2 人の内数	0 人	2 人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「カリキュラム」の欄参照。
成績評価の基準・方法
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「成績評価の基準・方法」の欄参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 大学併修科 (大学・システム開発専攻) の「卒業・進級の認定基準」の欄参照。

学修支援等 (概要) 大学併修科(大学・システム開発専攻)の「学修支援等」の欄参照。
--

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	2人 (22.2%)	6人 (66.7%)	1人 (11.1%)
(主な就職、業界等) 金融、販売、福祉など			
(就職指導内容) 担任、就職課が連携し、受験企業の選択、受験指導などを行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) ITパスポート試験5名、情報セキュリティマネジメント試験1名、情報活用検定2級5名、秘書技能検定2級3名、日商簿記検定3級3名、ビジネス能力検定2級7名、MOSExcel2016上級6名、MOSWord2016上級7名、MOSPowerPoint20168名、MOSAcess20167名等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
大学併修科	100,000円	364,000円	420,000円	実習費、施設費、維持費、校費
情報システム専門科	150,000円	558,000円	458,000円	〃
情報システム科	150,000円	558,000円	458,000円	〃
情報ビジネス科	150,000円	420,000円	364,000円	〃
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hi-joho.ac.jp/wp/wp-content/themes/joho2021/img/pdf/hyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 地域住民委員, 関係団体委員, 企業等委員, および卒業生委員から構成される委員会 が, 学校の自己評価結果をもとに, 学校運営を評価する。定数は5人とする。 主な評価項目は, 教育理念・目標, 学校運営, 教育活動, 学修成果, 学生支援, 教育環 境, 学生の受入れ募集, 財務, 法令等の遵守, 社会貢献・地域貢献である。 その評価結果を教育活動その他の学校運営改善等に生かし, 学校運営の客観性と透明 性を高めることを目的とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
皆実学区社会福祉協議会 会長	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	地域住民
一般社団法人広島県情報産業協会 会長	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	関係団体
株式会社ネクストビジョン ゼネラ ルマネージャー	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	企業等
株式会社TSS ソフトウェア 部長	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	企業等
広島情報専門学校同窓会 会長	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hi-joho.ac.jp/wp/wp-content/themes/joho2021/img/pdf/09_hyouka.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hi-joho.ac.jp/publish-information/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	広島情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		76人	74人	－
内 訳	第Ⅰ区分	42人	45人	
	第Ⅱ区分	22人	－	
	第Ⅲ区分	12人	－	
家計急変による支援対象者（年間）				－
合計（年間）				81人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	—
計	0人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	12人	—	—
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	12人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

https://www.hi-joho.ac.jp/wp/wp-content/themes/joho2021/img/pdf/09_hyouka.pdf